

2024年4月24日

各位

マネックスグループ株式会社
代表執行役社長 CEO 清明 祐子
(コード番号 8698 東証プライム)

3iQ 社が提供する投資プラットフォーム「QMAP」への投資のお知らせ

当社は、本日付の当社プレスリリースに記載の通り、2024年4月23日（現地時間）付で株式取得による3iQ Digital Holdings Inc.（以下、その子会社を含め「3iQ社」）の子会社化を完了しました。

3iQ社の急速な事業拡大を支援するため、当社は3iQの投資プラットフォーム「QMAP」(3iQ Managed Account Platform)に初期投資家の1社として750万米ドルを投資することを決定いたしました。QMAPは3iQ社が運営する安全、透明、効率的な投資プラットフォームで、多様な暗号ヘッジファンドへのアクセスを提供する商品です。これらのファンドは、世界の機関投資家の複雑な要求に応えるアルファ重視の戦略を取り揃えており、本投資により、機関投資家のデジタル資産運用分野における3iQ社の地位が大幅に強化されるものと考えております。

QMAPは、デジタル資産がアクティブに運用されるようになるという世界的な潮流の最先端に位置する商品です。3iQ社は厳格なデューデリジェンス・プロセスを採用し、アルファの創出と効果的なリスク管理において一貫した能力を持つファンド・マネージャーを選定しており、これらのファンド・マネージャーは機関投資家としての経歴、専門知識、卓越した運用能力、様々な市場サイクルにおける運用実績等を有する際立った存在です。この投資プラットフォームのマネージド・アカウントの仕組みは、3iQ社が資産を直接管理できるようにする革新的なもので、これにより透明性が高まり、リスク管理能力も強化され、その結果投資家を利することになります。さらにQMAPは、従来のファンド・オブ・ファンズの仕組みで一般的である重層的な管理手数料やパフォーマンス手数料を排除し、投資家が投資配分を調整したり、あらかじめ設計されたモデル・ポートフォリオから選択したりするオプションを追加費用なしで提供しています。QMAPは、資産配分アドバイザー等に対し、今日のデジタル資産運用業界に必要な信頼と利便性を提供しています。

当社CEOの清明祐子は次のように述べています。「マネックスグループが革新的な QMAP に投資する機会を得たことを大変嬉しく思います。近いうちにQMAPが、洗練された投資家にとって、多様な暗号資産ヘッジファンドに投資するためのメジャーなプラットフォームとなることを大いに期待しています。」

3iQ社のパスカル・サン・ジャン社長は、次のように述べています。「今後も、オルタナティブ資産運用とデジタル資産投資の両分野で豊富な経験を持つ経験豊富なチームを擁し、機関投資家のために最先端の投資ソリューションを開発するという、当社の10年以上にわたる伝統を堅持していきます。マネックスグループとともに、世界的な新基準となる優れた投資体験を創造することを目指します。」

QMAPの詳細についてのお問い合わせは、3iQ社のManaging DirectorであるLouis LaValle (llavalle@3iq.ca) にご連絡下さい。

(報道関係者様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 加藤 電話 03-4323-3983

(株主様・投資家様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 経営管理部 IR担当 仲野、小森 電話 03-4323-8698